

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富士宮校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	●	法令上十分なスペースを確保しています。	3つある支援室を支援内容、状態により使い分けています。
	②	職員の配置数は適切である	○	●	法令上必要となる人数より2名以上多く配置しています。	利用されている方の状態像を踏まえ、必要な人数を配置していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	●	遠隔支援の環境を整え、必要時には来所にこだわらず支援を受けていただけるようにしています。	入口に段差があるため、必要に応じ、マンパワーにて対応させていただきたいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	●	利用の前後には消毒液を使い、清掃、消毒しています。	建物自体に補修が必要な部分が出てきているため、随時改善していきたいと思います。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○	●	毎日支援に対する報告会を行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認・提案できるようになっています。	継続していくとともに、より多くの意見が出るよう体制を整えたいと思います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	●	保護者向けアンケートを実施し、その結果共有、話し合いを行っています。	アンケート結果を踏まえ、今後の改善に努めていきたいと思います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	●	ホームページを開設し評価及び改善内容を公開しています。	公開していることを周知できるように努めたいと思います。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	●	まだ第三者評価を受けていません。	会社全体として検討し、評価を受けた時には結果を周知できるようにしていきたいと思います。

適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部研修、事業所内研修を行っています。	各々の専門分野にあった研修への参加、資格取得の体制を整えていきたいと思っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的に保護者様・利用者様と面談を行い、ニーズの把握に努めています。	利用者様、保護者様との信頼関係を築き、より正確なニーズの把握につとめていきたいと思っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		NCプログラムを利用しています。	必要に応じ Vainland、S-M 等の適応行動尺度を利用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントを基に複数領域の目標を立て、支援を行っています。	「地域支援」に弱さがあるため、他施設との連携や地域資源を利用しながら適切な支援内容が設定できるよう努めていきたいと思っています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		毎日ミーティングを行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認をしています。	支援見学などを行い、客観的視点を取り入れながら確認をしていきたいと思っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		主担当の他、複数人でチームを組み、プログラム検討を行っています。又、必要に応じて事業所内でケース会議を開いています。	職員間でズレが出ないように、主担当を中心として意見や方針の統制をしっかりと行っていきたいと思っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者様の気分や体調、予定等に合わせ、プログラムの内容を個別に変更しています。	研修などを通じて、新しい試みや活動を取り入れることができるようにしていきたいと思っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している		○	基本的には個別での活動を基に個別支援計画を立てています。	必要に応じて集団活動が行えるよう、体制を整えていきたいと思っています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日朝礼を行い、情報共有をしています。	サポートが必要な部分などを前もって共有できるようにしていきたいと思っています。

	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日報告会を行い、記録に残すことで情報共有をしています。	報告時に様々な意見が出るよう環境を整えていきたいと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		全員が確認できるようにしているとともに、複数人で記録を確認することで支援の記録に漏れがないよう注意しています。	確認時に提案や改善点が出せれるよう、工夫をしていきたいと思います。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者や相談支援事業所と連携をとり、必要に応じて随時見直しを行っています。	環境の変化や成長を気にしながら、適切なタイミングで計画の見直しをしていきたいと思います。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて支援員も参加するようにしています。	直接支援する支援員がより多く参加できるよう、努めていきたいと思います。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		療育支援センターへの訪問、見学を行っています。	今年度はコロナの関係により、訪問が難しかったため違う形でも連携が取れるようにしていきたいと思います。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在該当する利用者様がおられません。	該当される方がいる場合は主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていききたいと思います。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在該当する利用者様がおられません。	該当される方がいる場合は主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていききたいと思います。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援としては行っておらず、幼稚園への見学や相談支援を通じて情報共有を行っています。	保育所等と密に連絡が取れるよう、関係を作っていきたいと思います。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援としては行っておらず、就学後に学校とのケース会議等の形で連携をしています。	就学前も視野に入れ、連携をとれるようにしていきたいと思います。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所と合同でケース会議、研修の機会を作っています。	継続し、より多くの職員が参加できるようにしていきたいと思います。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	コロナにより、中止をしています。	時期を見ながら、イベント等を通じて機会を作っていきたいと思います。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	△○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	より多くの職員が参加するよう、努めていきたいと思います。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の支援後に保護者へのフィードバックの時間を設けています。	必要に応じて写真や動画を用いてより伝わりやすくなる工夫をしていきたいと思います。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		毎回の支援時に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。	研修や講演等を開催していきたいと思います。
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、変更時に書面とともに説明をしています。	今後も丁寧に説明を行える時間を取っていききたいと思います。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		不明な点がないよう、実際に行うことを例に挙げながら説明と同意を得ています。	その時の計画だけでなく、今後の展望を合わせ伝えていきたいと思います。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を行うとともに、相談予約票の設置をしています。	十分な時間をとれていないことがあるので、相談予約票の活用を促していきたいと思います。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナにより、中止をしています。	時期を見ながら、イベント等を通じて機会を作っていきたいと思います。
	保護者への説明責任等	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		支援前後に受け付けているほか、相談の予約票を設置し別時間を設けての相談の体制を整えています。
㉚		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		Lineや掲示を通じて、行事の広報をしています。また会報に関してはタイムラインに	今後もLineへの登録をお願いするとともに、週1回程度の割合にてタイムラインを更新したいと思

				て随時更新させてい ただいています。	います。又、ブログで紹介 させていただいたものは 掲示にても周知してい きたいと思います。
38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類やデータについ ては鍵付きの棚にて 保管させて頂いてい ます。	必要のない情報は収集し ないとともに、パーソナル データの取り扱いには十 分留意していきたいと思 います。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしている	○		SNS (Line) を取り 入れています。	視覚的な工夫をしていく とともに、今後他の SNS も検討していきたいと思 います。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている		○	コロナにより、中止を しています。	時期を見ながら、イベント 等を通じて機会を作って いきたいと思います。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると ともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、 職員、利用者ともに自 由に閲覧できるように しています。	周知が浅いため、視覚的 にわかりやすくしてい きたいと思います。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っている	○		場面を想定し、月 1 回の避難訓練を実施 しています。	避難訓練を行った時はブ ログ等で紹介してい きたいと思います。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認している	○		聞き取りの他、必要に 応じてお薬手帳の確 認をしています。	間違えないよう、了解 いただける場合には、お 薬手帳を拝見させてい だきたいと思います。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされている	○		全ての利用者に対し てアレルギーの有無を 確認しています。	基本的に食物の提供はし ていないため、必要があ る場合には、該当物質と の接触を避けるようにし たいと思います。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい る	○		ヒヤリハットの報告書 を作成し、いつでも閲 覧できるようにしてい ます。	ヒヤリハットマニュアルに 沿って些細なことでも共 有していけるようにしてい きます。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を設け ています。	具体例を基に、職員全体 で理解を深められるよう にしていきたいと思 います。

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	重要事項説明書及び契約書に記載し、契約時に説明を行っています。	具体例を示しながら、利用者様、保護者様にご納得いただけるよう、説明していきたいと思えます。
----	--	---	---------------------------------	---

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」富士宮校

保護者等数（児童数）：6（6） 回収数：6 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100				子どもの成長に合わせて毎回違ったプログラムで進めてもらっている。	これからも成長に合わせてチームでプログラムを検討していきたいと思います。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33	17		50		コロナの影響により今年はなかったため、イベント等を通じ機会を作りたいと思います。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100					

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100				内容のこどもの様子をとても細かく教えていただいている。ほんの少しの変化や小さな成長を親と同じように感じてもらえている。	ありがとうございます。これからも計画を基に成長が分かるよう、説明をさせていただきたいと思えます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	83			17		
非常時等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100				教えていただいていることは大きな影響を与えていて、会話も増え目まぐるしい成長が見られます。	ありがとうございます。きらりの場だけではなく、生活の場に還元できるよう工夫していきたいと思えます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	83			17		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20			80		コロナの影響により今年にはなかったため、イベント等を通じ機会を作りたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100				とても丁寧で、こちらの意見を受け入れてくれる。	いつでも相談ができる体制を整えていきたいと思えます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	83			17		視覚的にわかりやすくなるよう、掲示の仕方を工夫していきたいと思えます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100					
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100					

の 対 応	①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67			33		避難訓練の記録など、周知できるように広報していきたいと思います。
	満 足 度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	100				支援がとても丁寧で優しく親子で通所を楽しみにしています。時間が増えたらうれしいです。
		③	事業所の支援に満足しているか	100				こどもの頑張る姿を見て成長が感じられます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

